

# 九州地区国語教育研究大会 第1分科会「話すこと・聞くこと」



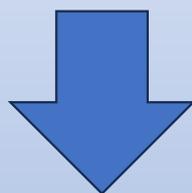
油津中学校からの風景



南那珂地区代表  
日南市立油津中学校  
中武 遼太郎

## 研究の主題

論理的に考え、分かりやすく伝え合う  
ことのできる生徒の育成



自分の立場を明確にした、情報の活用  
と言語活動を通しての授業実践

## 主題設定の理由

### 高度情報化社会

- ・子どもたちの触れる情報量が格段に増加
- ・情報の真偽を見極める難しさ
- ・授業におけるICT機器の普及

**情報を積極的に活用した  
「話す力・聞く力」の育成**

# 情報を活用するとは

情報を根拠として主張したり、相手に分かりやすく伝える力

情報の出所を確認し、真偽を吟味する力

自分が伝えたいことについて、必要となる情報を集める力

身の回りにあふれる大量の情報

- ◎インターネット
- ◎書籍
- ◎テレビ
- ◎ラジオ
- ◎新聞

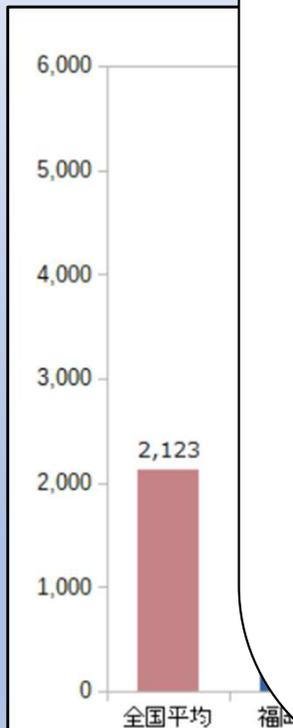


## 現状の課題

Q 以下の図表を参考にして、  
客観的な事実と自己

〈生徒の記述〉

- ◎福岡県の方は、多くたらこを食べていることが分かる。
- ◎福岡市のたらこ支出額は、けっこう多いと感じた。



図表を正しく読み取れていない！

- ◎福岡市と北九州市の2市だけで、「福岡県全体の方がたらこを多く食べている」とは断定できない。
- ◎「たらこ支出額がけっこう多い」と感じる かは個人差があり、あくまで主観的な読みにとどまっている。



客観的な根拠を元にして  
話し合う土台ができていない！

「たらこ」への支出額上位10都市および全国平均（2020年）

※一世帯当たり（単身世帯を除く）

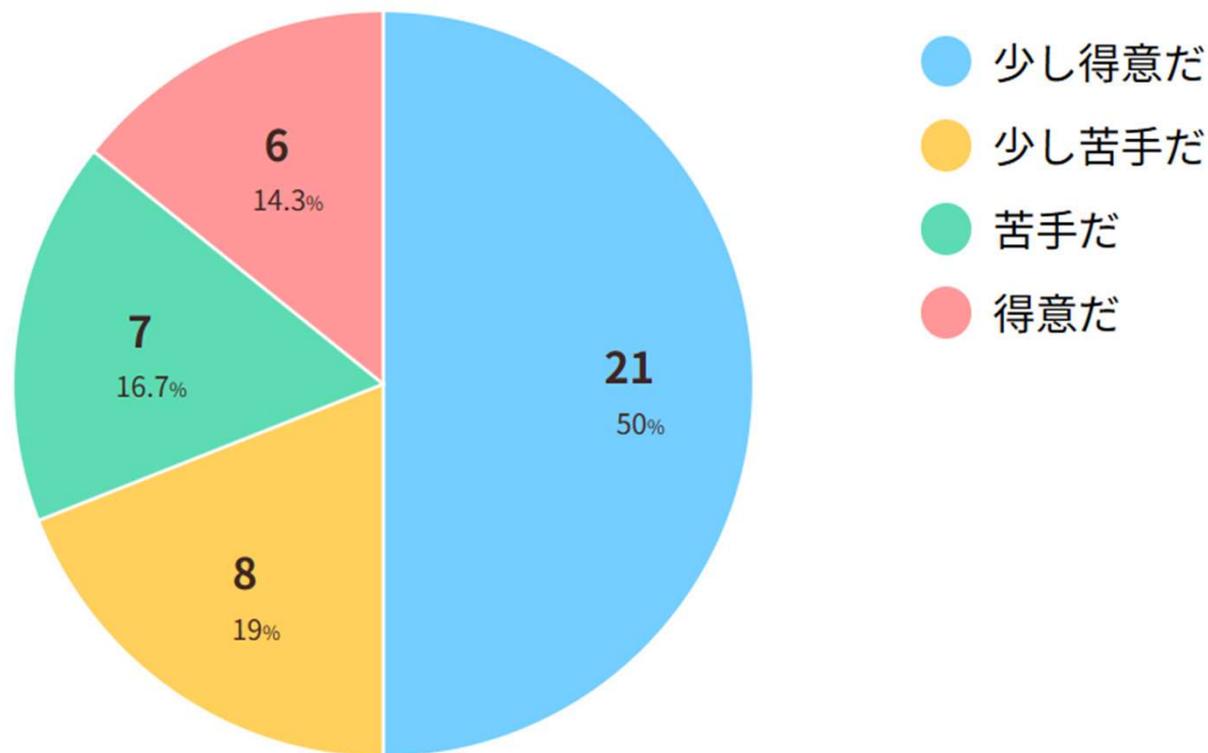
# 現状の分析

2023年5月実施  
2学年対象アンケートより

【5】あなたは、「図やグラフから必要な情報を読み取り、自分の意見に活用すること」が得意ですか。

棒グラフ

円グラフ



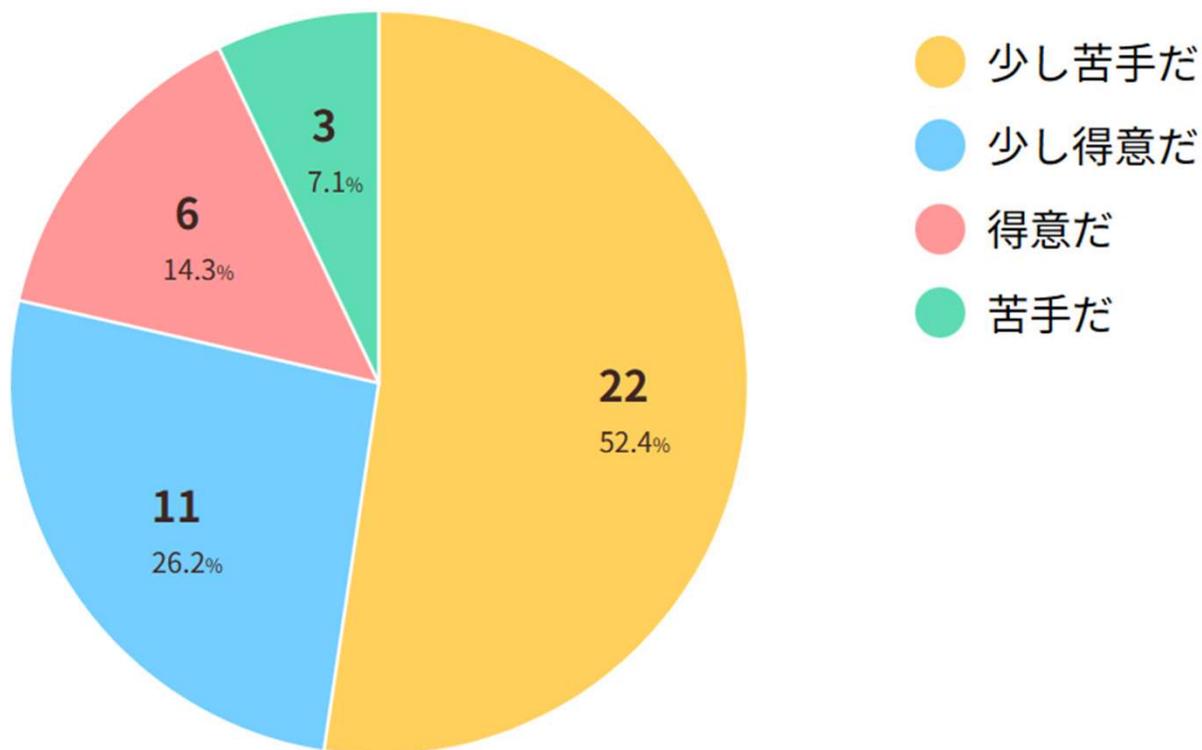
# 現状の分析

2023年5月実施  
2学年対象アンケートより

【2】あなたは、「客観的な根拠をもとに自分の考えを整理すること」が得意ですか。

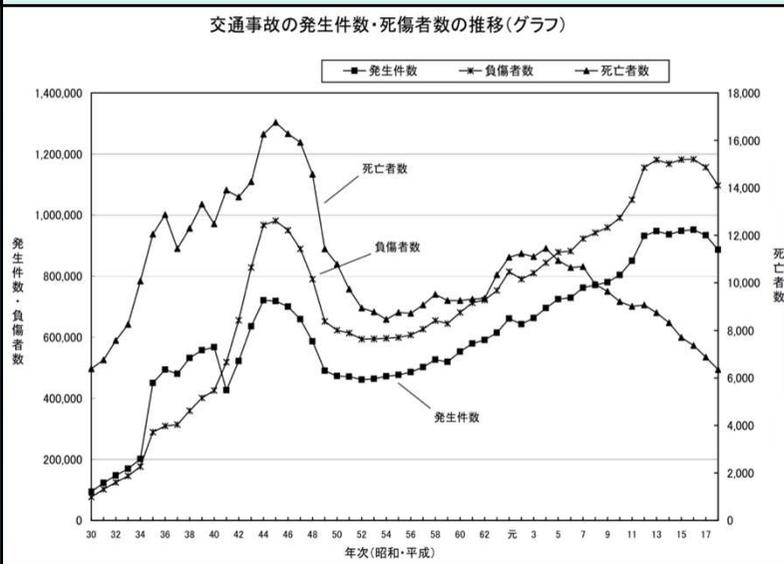
棒グラフ

円グラフ



# 授業実践 I

- ◎単元名「考えを比べながら聞こう」
- ◎単元目標 相手の考えとその根拠に注意して話を聞き、自分の考えと比べる



「考えを比べながら聞こう」

【学習課題】

《Aさんの意見》  
高齢者が車を運転すること以上の高齢者は運転免許を

Q1 Aさんの意見に対する賛成派・反対派 挙げられるだろうか。それぞれの根拠を

《賛成派の主張の根拠》

《反対派の主張の根拠》

Q2 Q1で挙げた根拠を比較して、自分は その上で、自分の主張を支える根拠として

《自分の立場》  
私は、Aさんの意見に対して(賛成・反対) 《自分の主張の根拠》

自分の主張の根拠を考えたときは、次の根拠が「好き」、「嫌い」などの主観や、提示する根拠は、誰でも納得できる客観的「だいたい」、「多分」などの抽象的な表現を

◎自分の主張の根拠として、**図表から読み取った事実**を取り入れさせる

◎客観的に**図表を読み取るポイント**をあらかじめ明示しておく

# 授業実践 I

- ◎単元名「考えを比べながら聞こう」
- ◎単元目標 相手の考えとその根拠に注意して話を聞き、自分の考えと比べる

首尾の一貫

〈結論〉 主張の再提示	〈本論〉 自分の考えを支える根拠の提示	〈序論〉 主張の提示
<p>したがって、私は高齢者の運転免許返納に対して</p> <p>反対 ～である。</p>	<p>その根拠として、次のようなことが挙げられる。高齢者による死亡事故は15%で返納しても85%は今後もつづくと考えられ、しかも足腰の弱い高齢者の外出の自由をうばうなら高齢者だけ半年に一回講習を受けるなどをした方がよいと考える。</p> <p>たしかに、高齢者の死亡事故による割合は年々増えているという考えもある。しかし件数は年々減少している傾向にある。それに死亡事故の人的要因の5個中4個は75歳未満の方がパーセンテージが高いことばかりである。</p>	<p>私は、「高齢者は運転免許を返納するべき」という意見に対して</p> <p>反対 ～である。</p>

「考えを比べながら聞こう」記述シート

氏名

# 授業実践 I

- ◎単元名「考えを比べながら聞こう」
- ◎単元目標 相手の考えとその根拠に注意して話を聞き、自分の考えと比べる

〈結論〉 主張の再提示	〈本論〉 自分の考えを支える根拠の提示	〈序論〉 主張の提示
<p>したがって、私は高齢者の運転免許返納に対して 「反対」である。</p>	<p>確かに、車がなくとも、タクシーやバス、交通手段はあるし、年々75歳以上の運転者の死亡事故が増えているのは、事実である。しかし、タクシーを呼ぶとなるとタクシーが来る時間もかかるし、事故を防ぐために、講習をやらなくなど防ぐための方法はある。</p>	<p>私は、「高齢者は運転免許を返納するべき」という意見に対して「反対」である。 その根拠として、次のようなことが挙げられる。 急いでどこかに行かないといけないときに、車がないと時間もかかるし、徒歩で行くにしても、労力がかかってしまう。</p>

## 授業実践 I

◎単元名「考えを比べながら聞こう」

◎単元目標 相手の考えとその根拠に注意して話を聞き、自分の考えと比べる

### 〈 成果 〉

◎客観的に**図表を読み取るための基本的な力**はおおむね身についた。

◎記述ワークシートである程度の型を示すことで、文章記述が苦手な生徒も書くことができ、**苦手意識を少なくすることができた。**

### 〈 課題 〉

◎今回はあらかじめ準備された図表を扱ったので、**自分で情報を集めたり、真偽を確かめる学習**が欠けていた。

◎「話すこと・聞くこと」の単元であるが、書いた文章を相互に読み合わせる活動で終わってしまい、**「自分の考えと比べる」単元目標は達成できなかった。**

## 授業実践Ⅱ

◎単元名「説得力のある提案をしよう」

- ◎単元目標
- ・聞き手に納得してもらうために、**説得力のある話の構成**を考える。
  - ・**資料や機器を活用**して、分かりやすく印象的に話す。

「話す力・聞く力」と情報活用能力を高める言語活動の設定

- ① プレゼンテーションの材料(日南市への提案)を**付箋**を使って、**自由に出させる**。
- ② 自分たちの提案に**説得力をもたせる資料**を探したり、自作のアンケートを実施したりする。
- ③ プレゼンテーションの構成をグループで見直し、**より説得力を高める工夫はできないか**考える。

# 授業実践Ⅱ

- ◎単元名「説得力のある提案をしよう」
- ◎単元目標
  - ・聞き手に納得してもらうために、**説得力のある話の構成**を考える。
  - ・**資料や機器を活用**して、分かりやすく印象的に話す。



「説得力のある提案をしよう」グループ討議シート 月 日  
グループ名( )

① 日南市をより良くするための改善点を、それぞれのカテゴリごとに出し合おう！

〈 商業 〉

アンテナショップを作る  
→日南市独自の商品



〈 交通 〉

自転車専用レーンの増設  
→サイクリストの人気アップ



〈 観光 〉

- ・油津港周辺の公園化
- ・鉄肥城下のような街歩き企画を他エリアでも実施



〈 自然 〉

- ・サーフィン教室の定期的な開催
- ・



〈 その他 〉

② グループで出した改善点のうち、特に解決したいものを1つ選ぼう！

日南市をさらに素晴らしい町にするために、私たちが解決したいことは・・・

# 授業実践Ⅱ

◎単元名「説得力のある提案をしよう」

- ◎単元目標
- ・聞き手に納得してもらうために、**説得力のある話の構成**を考える。
  - ・**資料や機器を活用**して、分かりやすく印象的に話す。



## 授業実践Ⅱ

◎単元名「説得力のある提案をしよう」

◎単元目標 ・聞き手に納得してもらうために、**説得力のある話の構成**を考える。

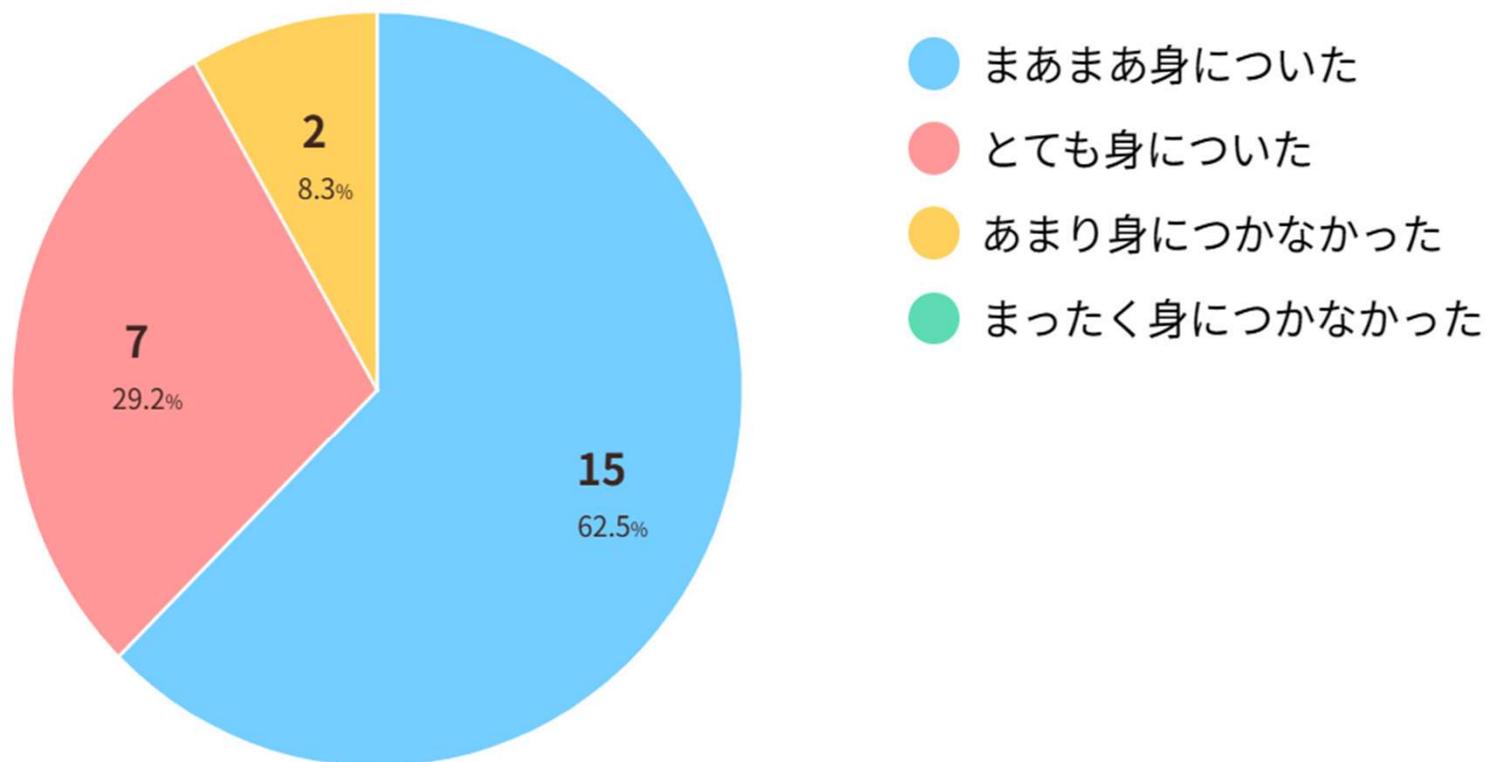
・**資料や機器を活用**して、分かりやすく印象的に話す。



# 生徒たちの事後評価

【8】 この単元を通して、「自分の考えに説得力をもたせるために有効となるグラフや資料を探す」力が身につきましたか。

棒グラフ 円グラフ

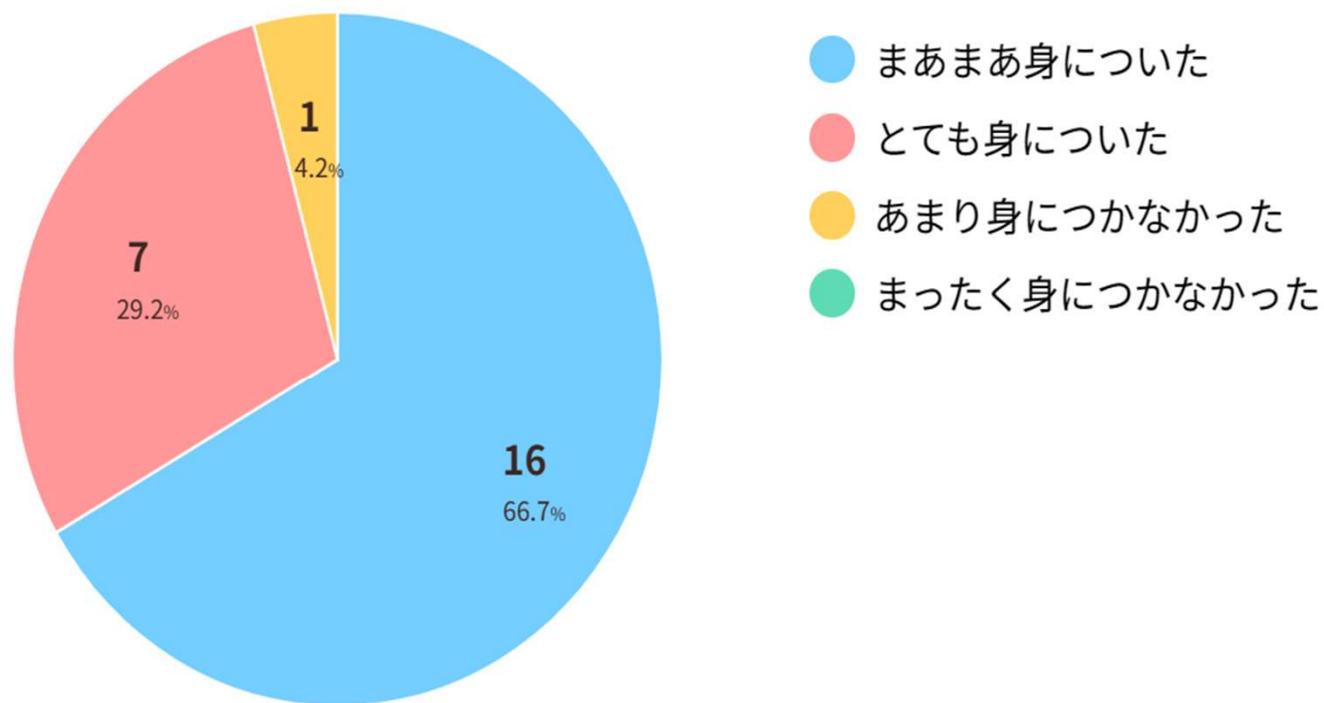


# 生徒たちの事後評価

【9】この単元を通して、「自分の提案を分かりやすく伝えるために、プレゼンテーションや話の構成・順番を工夫する」力が身につきましたか。

棒グラフ

円グラフ



## 授業実践Ⅱの成果と課題

### 〈 成果 〉

- ◎ プレゼンテーションを作る際に、どうすれば相手に分かりやすく伝わるか使用する図表や構成を工夫する力が高まった。
- ◎ 付箋を用いることで、タブレット端末よりもお互いに顔を見合わせて話し合う効果が見られた。
- ◎ 学習後の係活動や委員会活動にも応用できる、「話す力」が身についた生徒もいた。→生徒会執行部から学校への提案

### 〈 課題 〉

- ◎ 2学年の内容を1学年や3学年に繋げる系統的指導。  
→1年単元「話し合いで理解を深めよう」  
3年単元「話し合いで意見をまとめよう」
- ◎ 「分かりやすく伝わったか」を評価する難しさ。



## 研究のこれから

子どもたちの「情報活用能力」、  
「話す力・聞く力」が伸びる可能性は  
想像以上！！

学級活動

委員会活動

身近な  
問題解決

**ご清聴ありがとうございました！！**